

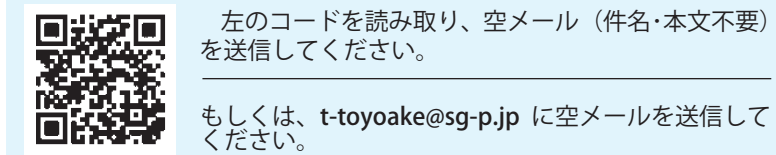
豊明市 水害・土砂災害 ハザードマップ

保存版

令和 8 年 (2026 年) 5 月改訂
・使用地図図: 令和 4 年 3 月時点
・指定避難所: 最新情報を反映

豊明市メール配信サービス

防災情報など市からのお知らせを登録された方の携帯電話などに電子メールで配信するサービスです。どなたでも登録でき、無料です。ぜひご利用ください。



豊明市公式 SNS

下のコードを読み取って、豊明市公式 SNS を確認すると、防災情報が受け取れます。



同報無線

放送内容を聞き逃したときは、**自動応答電話サービス**。このダイヤルで、同報無線の放送を聞き直すことができます。(通話料がかかります)

お役立ち情報

災害情報を自ら収集し、危険を感じたときは自主的に避難してください。

豊明市ホームページ
https://www.city.toyoake.lg.jp/
気象警報が発表された場合にトップページで情報を確認できます。

愛知県 川の防災情報
https://www.kasen-aichi.jp/
県内雨量、県管理河川(境川)の水位、河川カメラを確認できます。

国土交通省 防災情報提供センター
https://www.mlit.go.jp/saiga/bosaijoho/
国土交通省が保有する防災情報を集約して、わかりやすく提供しています。

豊明市 河川水位情報
https://www.city.toyoake.lg.jp/5134.htm
市内の河川水位を確認できます。

災害用伝言サービス「171」&「web171」

NTT の災害用伝言ダイヤルは、地震などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。

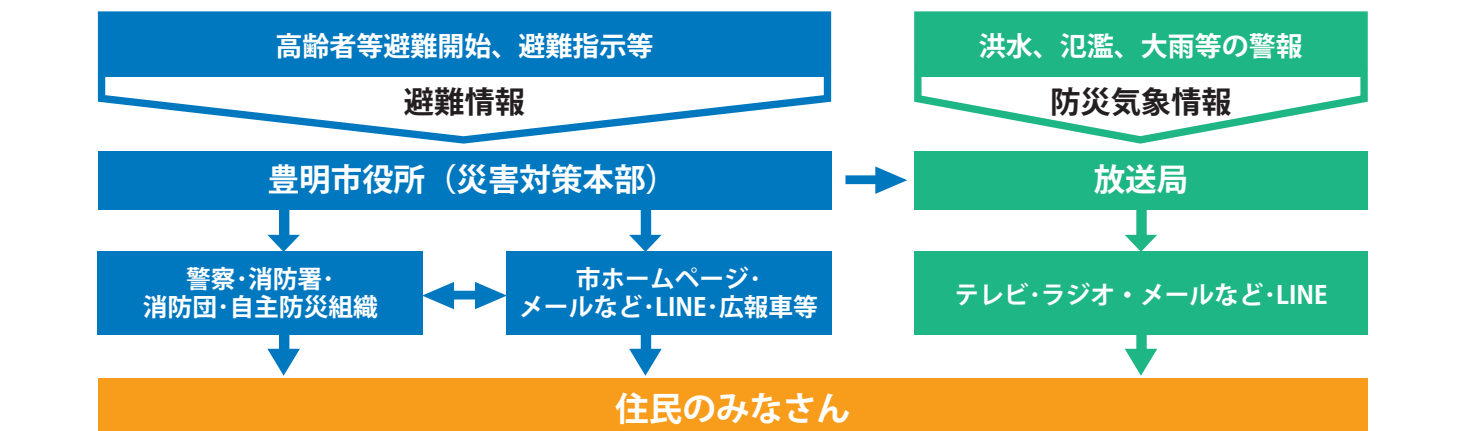
「災害用伝言ダイヤル 171」
被災地域内と他の地域を結ぶ声の伝言板。
利用方法: 災害発生時、電話で「171」をダイヤルすると、災害用伝言ダイヤルに接続します。災害発生後、災害用伝言ダイヤルに接続して、災害発生状況や避難場所などを伝言することができます。

「災害用伝言版 web171」
家族の安全がインターネット上で確認できる。
画面の指示によりご利用ください。

豊明市役所 TEL 0562-92-1111 URL https://www.city.toyoake.lg.jp/

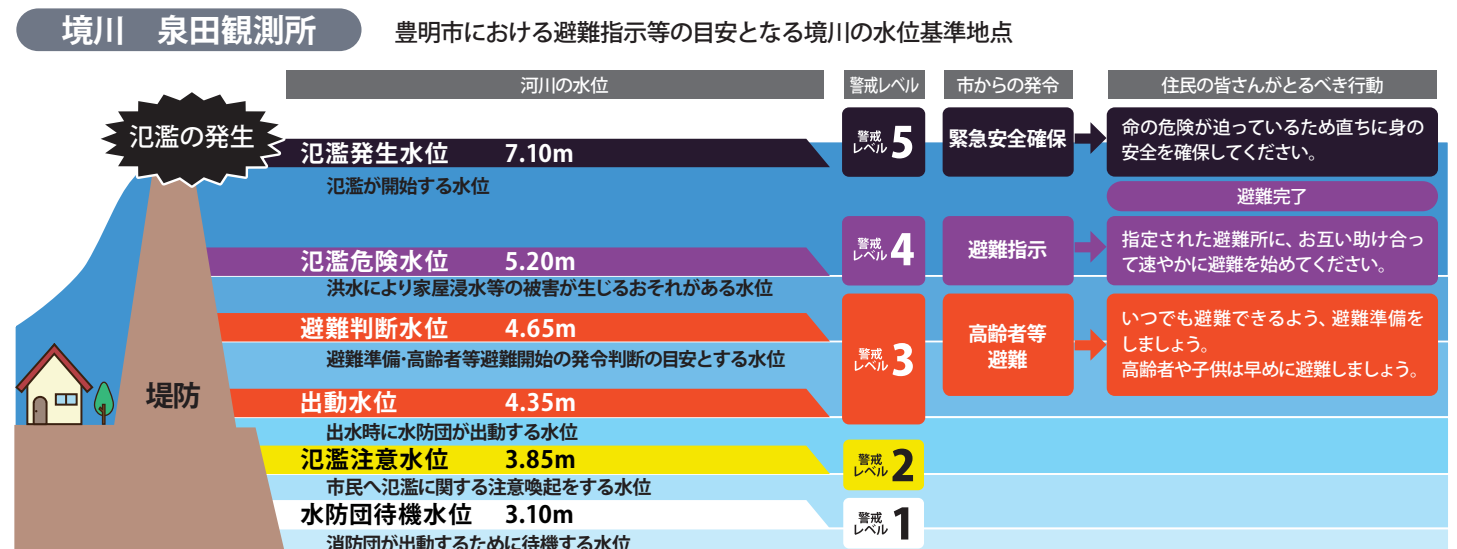
情報の伝達経路

避難指示等は図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。



基準水位と避難指示

洪水に係る避難指示などの発令判断の目安となる水位のことを基準水位といいます。基準水位は、各水位観測所の受け持ち区間のうち、最も早く洪水被害が発生する地点(危険箇所)で決まっています。基準水位は、河川が溢れはじめるまでに避難が完了できるよう、避難に要する時間(リードタイム)などを考慮して設定しています。



水害発生時における避難の心得

風水害などの災害が発生するおそれが高まったとき、命を守るための行動(=避難行動)を取ってください。避難行動には、次の 4 つの行動があります。災害の種類ごとに危険な場所を把握し、どのような行動を取ればよいかをあらかじめ確認しておきましょう。

立ち退き避難
① 避難場所・避難所への移動
② 避難場所・避難所以外の安全な場所(親戚や友人の家等)への移動
③ 近隣の高い建物、強度の強い建物等への移動
避難途中、浸水がひどく近づくまでしたら!
近くにある高い建物などに避難してください!

屋内安全確保
④ 建物内より安全な場所(高い場所など)への移動とその場所での待機
自宅にいたるとき、浸水が始まったら!
すぐに上へ避難してください!

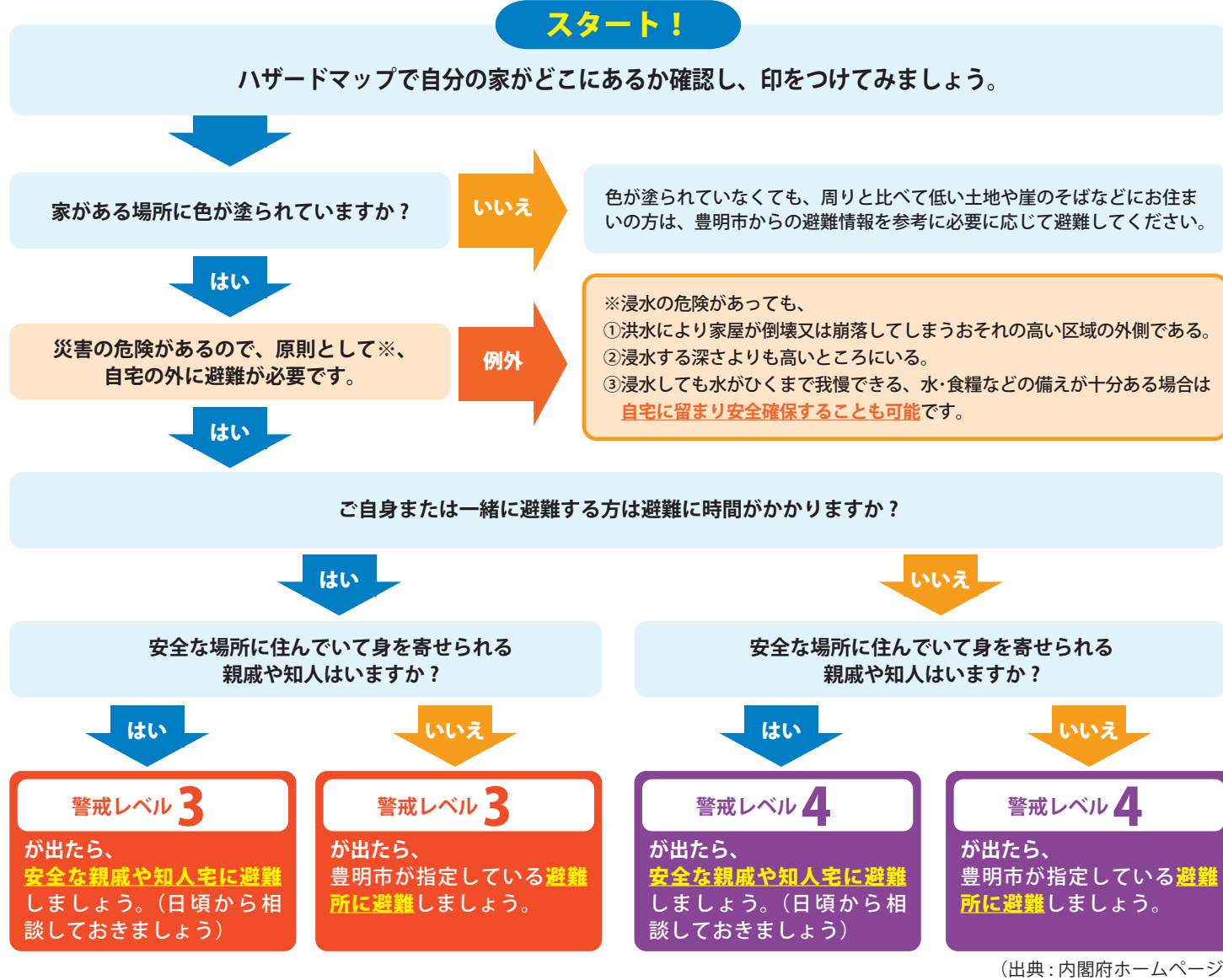
警戒レベルとは

災害発生危険度とみなさんのとるべき行動を直感的に理解するための情報です。警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル3や4が出た段階で危険な場所から避難しましょう!

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のかけ崩れや土石流	高潮 海水面上昇や波の打上げによる浸水	住民が取るべき行動
警戒レベル5 相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
<警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難!>					
警戒レベル4 相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル3 相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル2 相当	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル1	早期注意情報			災害への心構えを高める	

避難行動判定フロー

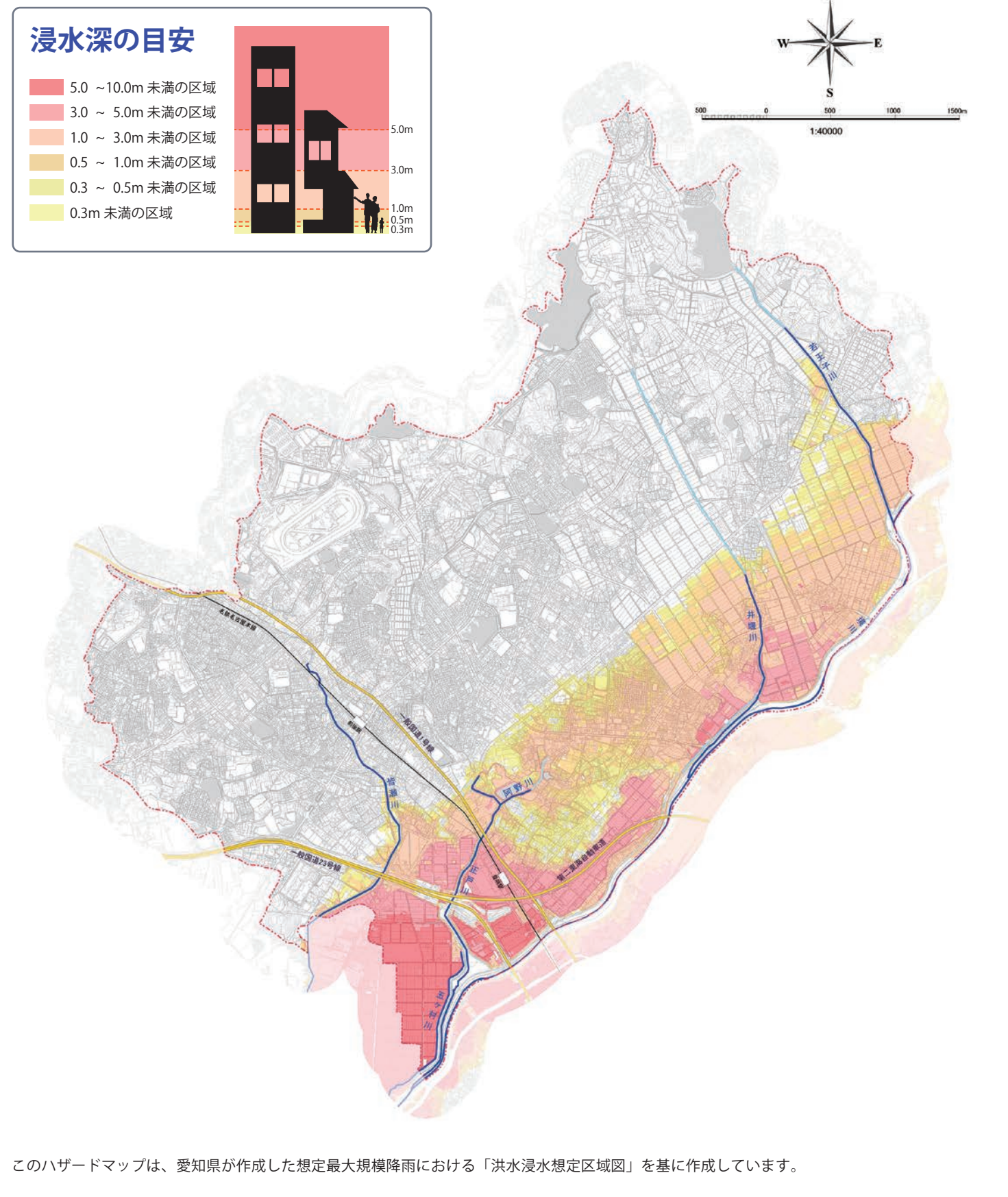
あなたがとるべき避難行動は?



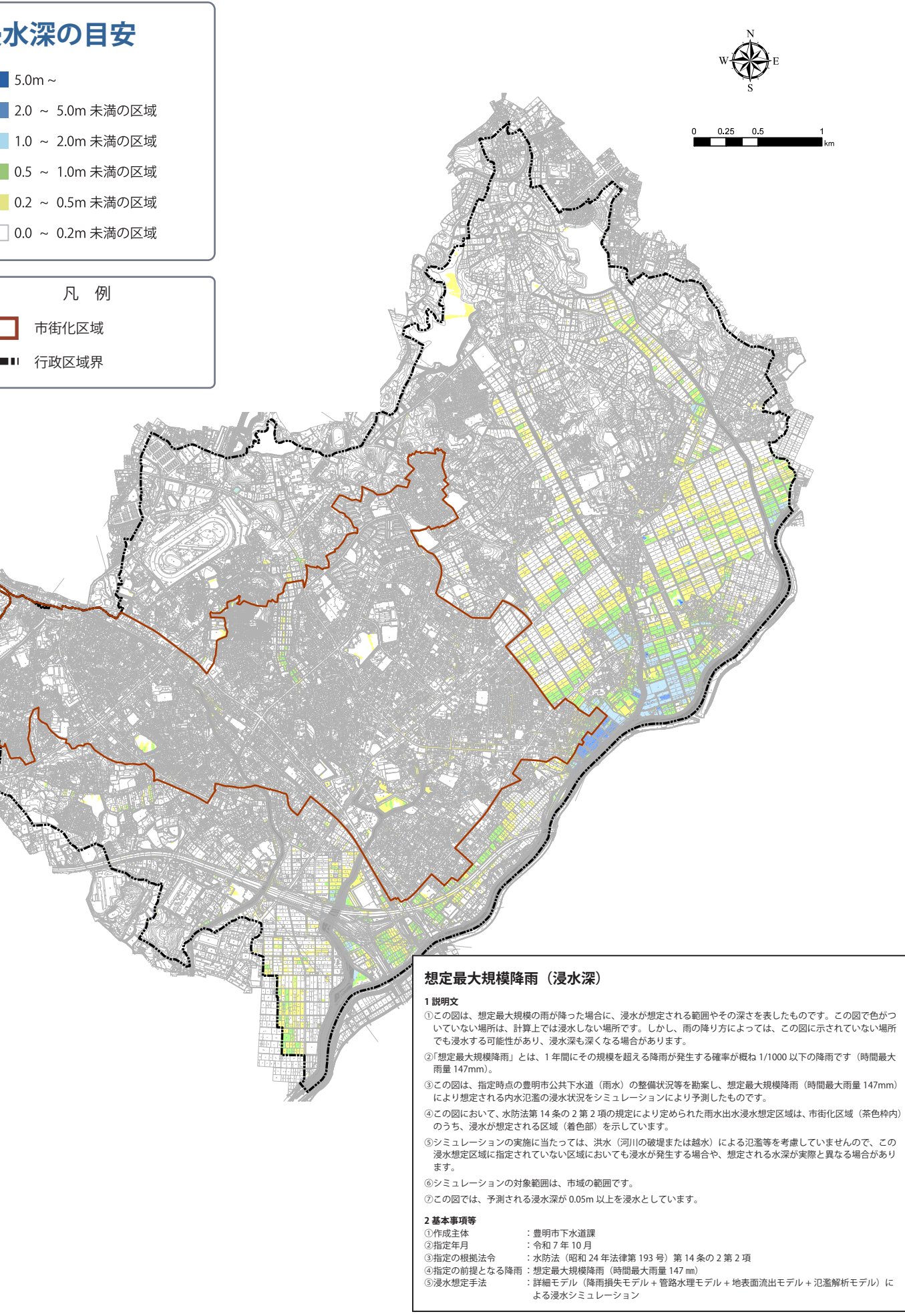
(出典: 内閣府ホームページ)

1000 年に 1 度程度の大雨(24 時間総雨量 760 mm)で外水氾濫のみ発生した場合(水防法に基づき愛知県が公表した洪水浸水想定)

このハザードマップは、想定し得る最大規模の大雨(概ね 1000 年に 1 度程度の大雨)に対して、愛知県が管理する境川が増水し、水が溢れたり、堤防が決壊したときに起こりうる最も危険な浸水状況(浸水範囲と浸水深)を表したものです。



豊明市雨水出水浸水想定区域図(浸水深)



水害・土砂災害 ハザードマップ

保存版

令和 8 年（2026 年）
5 月改訂
・使用地形図：令和 4 年 3 月時点
・指定避難所：最新情報を反映

豊明市メール配信サービス

防災情報など市からのお知らせを登録された方の携帯電話などに電子メールで配信するサービスです。どなたでも登録でき、無料です。ぜひご利用ください。



左のコードを読み取り、空メール（件名・本文不要）を送信してください。

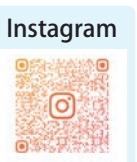
もしくは、t-toyoake@sg-p.jp に空メールを送信してください。

豊明市公式 SNS

下のコードを読み取って、豊明市公式 SNS を確認すると、防災情報が受け取れます。



※LINEのコードはLINEアプリ内のコード読み取り機能を使用して読み取ってください。



同報無線

放送内容を聞き逃したときは…
自動応答電話サービス

同報無線
ダイヤル

TEL 0562-92-7811

このダイヤルで、同報無線の放送を聞き直すことができます。（通話料がかかります）

お役立ち情報

災害情報を自ら収集し、危険を感じたときは自主的に避難してください。

豊明市ホームページ

<https://www.city.toyoake.lg.jp/>

気象警報が発表された場合などにトップページで情報を確認することができます。



愛知県 川の防災情報

<https://www.kasen-aichi.jp/>

県内雨量、県管理河川（境川）の水位、河川カメラを確認できます。



国土交通省 防災情報提供センター

<https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

国土交通省が保有する防災情報を集約して、わかりやすく提供しています。



豊明市 河川水位情報

<https://www.city.toyoake.lg.jp/5134.htm>

市内の河川水位を確認できます。



災害用伝言サービス「171」&「web171」

NTT の災害用伝言ダイヤルは、地震などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。

被災地域内と他の地域を結ぶ声の伝言板。

「災害用伝言ダイヤル 171」

利用ガイダンスにしたがってご利用ください。

伝言の録音方法

171にダイヤルする

1

暗証番号を利用する録音は「3」

(000)0000-00000

被災地の電話番号・携帯電話・PHS・IP 電話の電話番号をダイヤルしてください。※市外局番からダイヤルしてください。

伝言の再生方法

171にダイヤルする

2

暗証番号を利用する録音は「4」

(000)0000-00000

被災地の電話番号・携帯電話・PHS・IP 電話の電話番号をダイヤルしてください。※市外局番からダイヤルしてください。

家族等の安全がインターネット上で確認できる。

「災害用伝言版 web171」

画面の指示によりご利用ください。

登録方法

<https://www.web171.jp/>にアクセス

(000)0000-00000

被災地の電話番号・携帯電話・PHS・IP 電話の電話番号を入力してください。※市外局番から入力してください。

画面の指示に従って、文字による伝言を登録してください。

閲覧方法

<https://www.web171.jp/>にアクセス

(000)0000-00000

被災地の電話番号・携帯電話・PHS・IP 電話の電話番号を入力してください。※市外局番から入力してください。

画面の指示に従って、文字による伝言を確認・追加してください。

警戒レベルとは

災害発生の危険度とみなさんのとるべき行動を直感的に理解するための情報です。警戒レベル**5**は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル**3**や**4**が出た段階で危険な場所から避難しましょう！

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海水面の上昇や波の打上げによる浸水	住民が取るべき行動
警戒レベル 5 相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難！> -----					
警戒レベル 4 相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3 相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？

スタート！

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、豊明市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※、自宅の外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である。
②浸水する深さよりも高いところにいる。
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分ある場合は
自宅に留まり安全確保することも可能です。

はい

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル**3**

が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう。（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル**3**

が出たら、**豊明市が指定している避難所に避難**しましょう。

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル**4**

が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう。（日頃から相談しておきましょう）

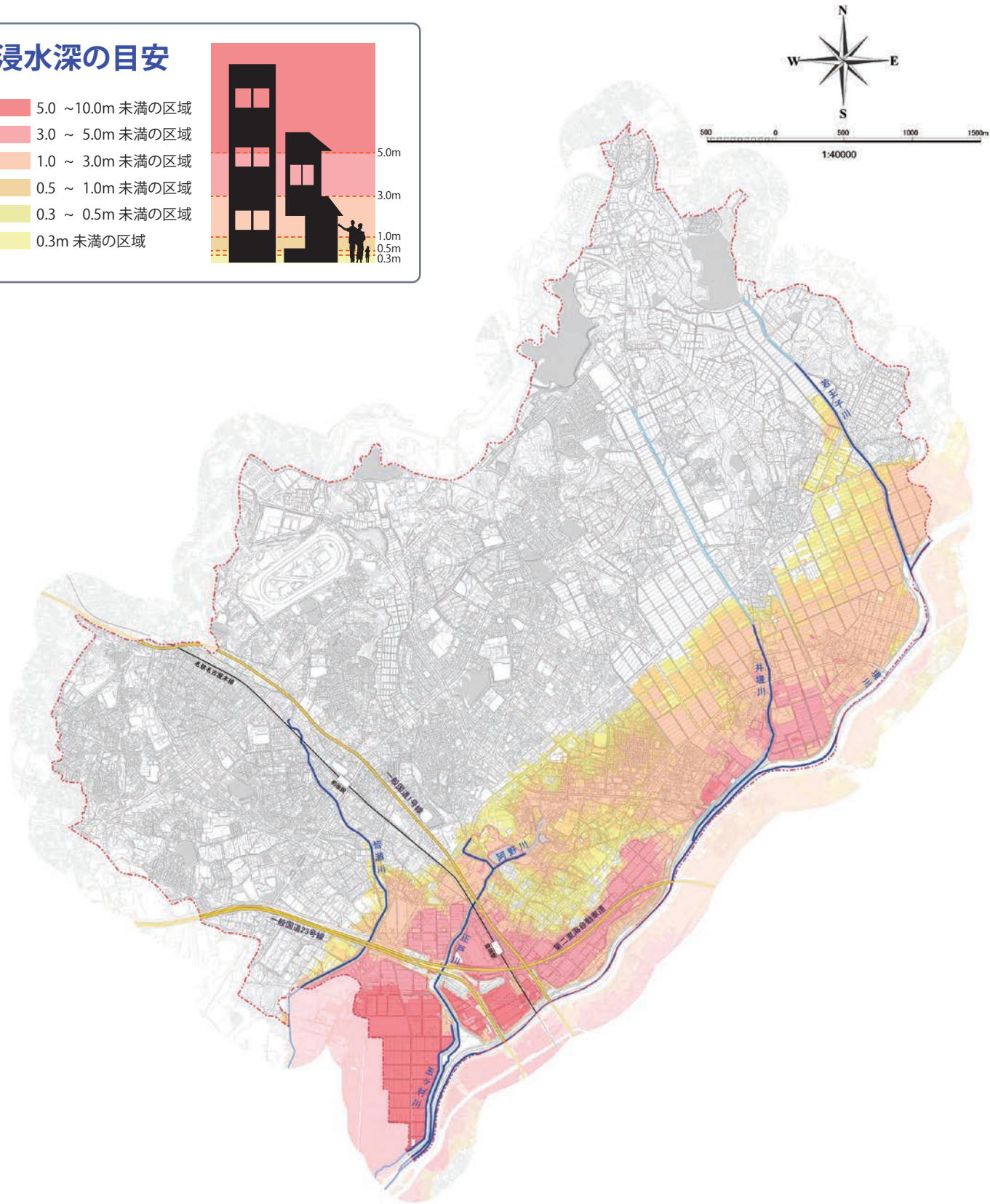
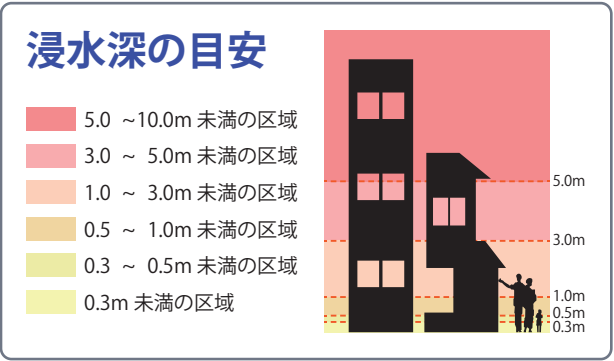
いいえ

警戒レベル**4**

が出たら、**豊明市が指定している避難所に避難**しましょう。

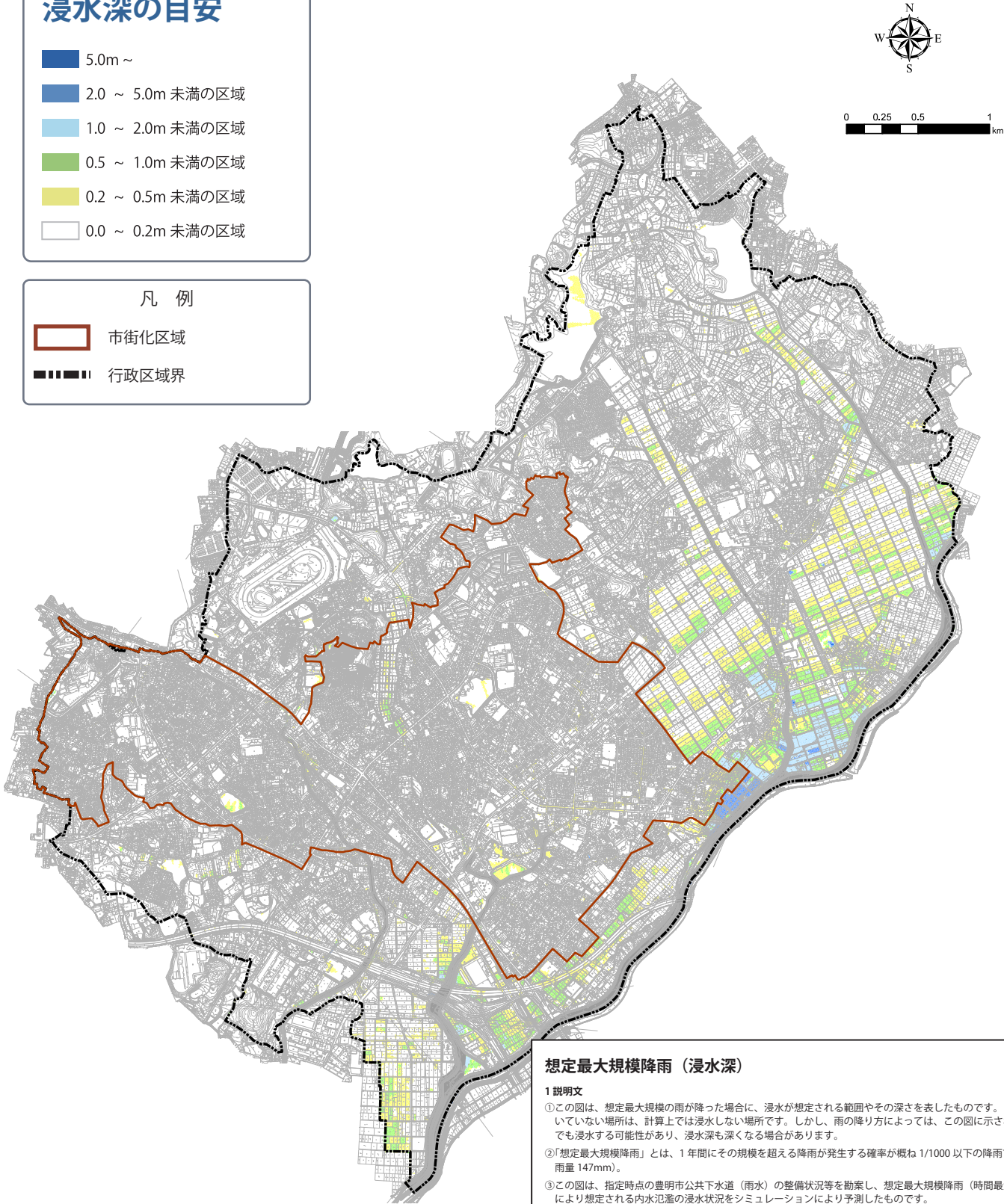
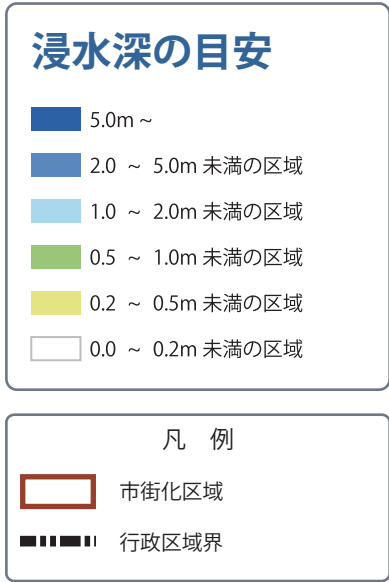
1000年に1度程度の大雨(24時間総雨量760mm)で外水氾濫のみ発生した場合 (水防法に基づき愛知県が公表した洪水浸水想定)

このハザードマップは、想定し得る最大規模の大雨（概ね 1000 年に 1 度程度の大雨）に対して、愛知県が管理する境川が増水し、水が溢れたり、堤防が決壊したときに起こりうる最も危険な浸水状況（浸水範囲と浸水深）を表したものです。



このハザードマップは、愛知県が作成した想定最大規模降雨における「洪水浸水想定区域図」を基に作成しています。

豊明市雨水出水浸水想定区域図（浸水深）



想定最大規模降雨（浸水深）

1 説明文

①この図は、想定最大規模の雨が降った場合に、浸水が想定される範囲やその深さを表したものです。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によっては、この図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合があります。

②「想定最大規模降雨」とは、1 年間にその規模を超える降雨が発生する確率が概ね 1/1000 以下の降雨です（時間最大雨量 147mm）。

③この図は、指定時点の豊明市公共下水道（雨水）の整備状況を勘案し、想定最大規模降雨（時間最大雨量 147mm）により想定される内水氾濫の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

④この図において、水防法第 14 条の 2 第 2 項の規定により定められた雨水出水浸水想定区域は、市街化区域（茶色枠内）のうち、浸水が想定される区域（着色部）を示しています。

⑤シミュレーションの実施に当たっては、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。

⑥シミュレーションの対象範囲は、市域の範囲です。

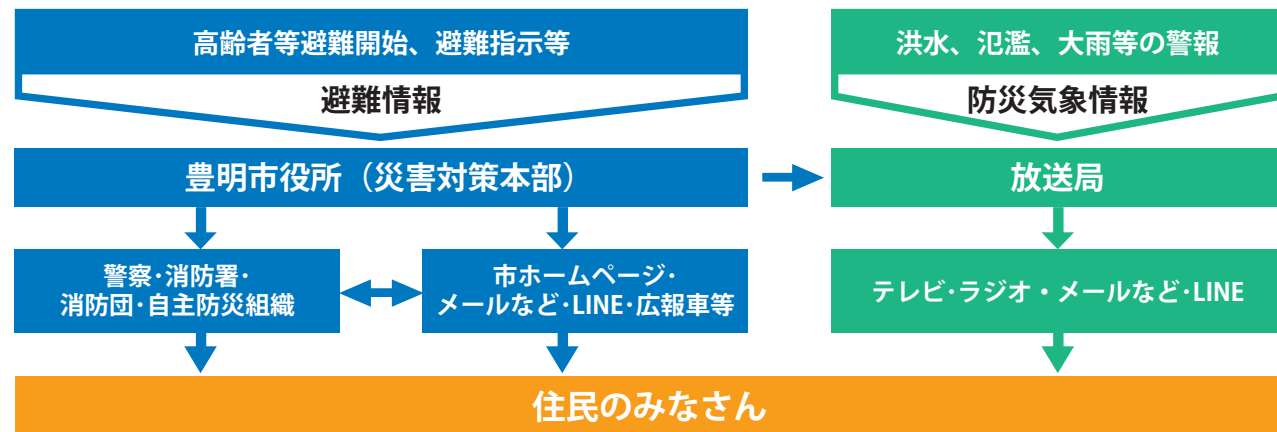
⑦この図では、予測される浸水深が 0.05m 以上を浸水としています。

2 基本事項等

①作成主体	：豊明市下水道課
②指定年月	：令和 7 年 10 月
③指定の根拠法令	：水防法（昭和 24 年法律第 193 号）第 14 条の 2 第 2 項
④指定の前提となる降雨	：想定最大規模降雨（時間最大雨量 147 mm）
⑤浸水想定手法	：詳細モデル（降雨損失モデル + 管路水理モデル + 地表面流出モデル + 氾濫解析モデル）による浸水シミュレーション

情報の伝達経路

避難指示等は図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。

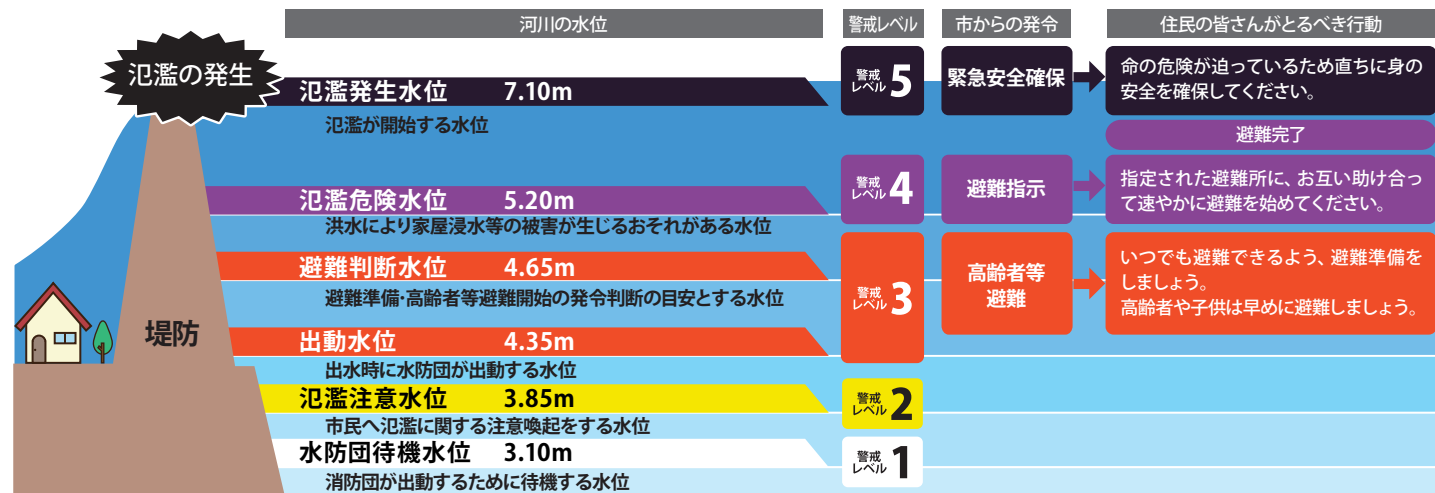


基準水位と避難指示

洪水に係る避難指示などの発令判断の目安となる水位のことを基準水位といいます。
基準水位は、各水位観測所の受け持ち区間のうち、最も早く浸水被害が発生する地点(危険箇所)で決まっています。
基準水位は、河川が溢れはじめるまでに避難が完了できるよう、避難に要する時間(リードタイム)などを考慮して設定しています。

境川 泉田観測所

豊明市における避難指示等の目安となる境川の水位基準地点



水害発生時における避難の心得

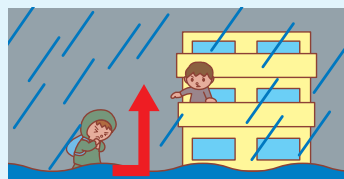
風水害などの災害が発生するおそれが高まったとき、命を守るための行動(=避難行動)を取ってください。
避難行動には、次の4つの行動があります。災害の種類ごとに危険な場所を把握し、どのような行動を取ればよいかをあらかじめ確認しておきましょう。

立ち退き避難

- ① 避難場所・避難所への移動
- ② 避難場所・避難所以外の安全な場所(親戚や友人の家等)への移動
- ③ 近隣の高い建物、強度の強い建物等への移動

避難途中、浸水がひざ下近くまできたら!

近くにある
高い建物などに
避難して
ください!



通常、浸水が50cmを越えた場所での避難行動は危険です。水の流れが強いときは15cmでも危険です。

屋内安全確保

- ④ 建物内のより安全な場所(高い場所など)への移動とその場所での待機

自宅にいるとき、浸水が始まったら!

すぐに
上へ避難して
ください!

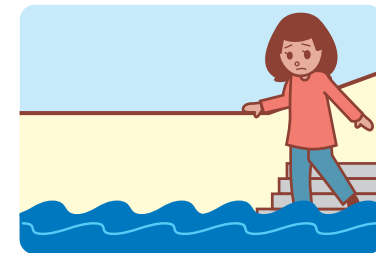


やむなく浸水の中を歩かなければならないときの注意

- 歩ける深さの目安は大人で50cmまでです。それ以上は救助を待ちましょう。



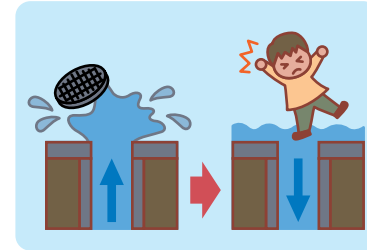
- 水深が浅い場所でも流れが速い場合は、非常に危険です。無理をせず救助を待ちましょう。



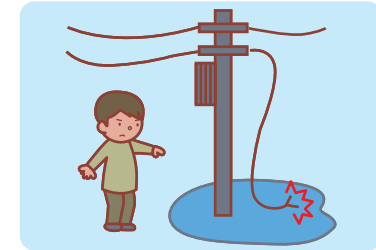
- 高齢者や身体の不自由な人などは背負って避難しましょう。



- 深い浸水だとマンホールに気付かず、吸い込まれてしまう場合があります。



- 切れた電線など、危険な場所には近寄らないようにしましょう。



- 氾濫による水は汚水が混ざっているため、むやみにさわらないようにしましょう。

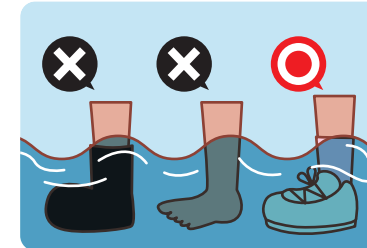


傘は使わず、雨合羽を着用する。

非常時持ち出し用品はリュックサックに入れて背負う。

ひもでしっかり締められる運動靴をはきましょう。

裸足や長靴は危険です。



避難するときの
服装



長い棒を杖にして、安全確認をしながら歩きましょう。

水面下には、側溝や障害物などもあり、危険です。



軍手(手袋)を着用する。

感染症対策

避難所に避難する場合は、食料・水以外にマスク、体温計、消毒液などを持参し、ソーシャルディスタンスを確保するなど感染症対策にも心がけましょう。



日頃の備え

非常時持ち出し用品の準備をしましょう。

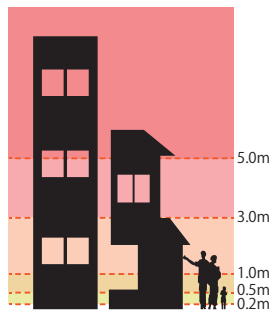
非常食(3日分)	飲料水(1日1人3ℓを3日分)	簡易ガスコンロ	ミルク、ほ乳瓶、おむつ	生理用品	ローソク	手袋
救急用品	下着	防寒着	貴重品	メガネなど日常生活に欠かせないもの	マッチ・ライター	缶切り・栓抜き
携帯ラジオ	懐中電灯	ティッシュ、ウェットティッシュ	タオル	雨具	予備電池	口腔ケア用品

100年に1度程度の大雨(24時間総雨量411mm)で外水氾濫と内水氾濫が同時に発生した場合

このハザードマップは、計画規模の大雨(概ね100年に1度程度の大雨)に対して、二級、準用及び普通河川の洪水による「外水氾濫」と、水路や下水道などで排水しきれなくなることによる「内水氾濫」が同時に発生する浸水状況(浸水範囲と浸水深)を表したものです。

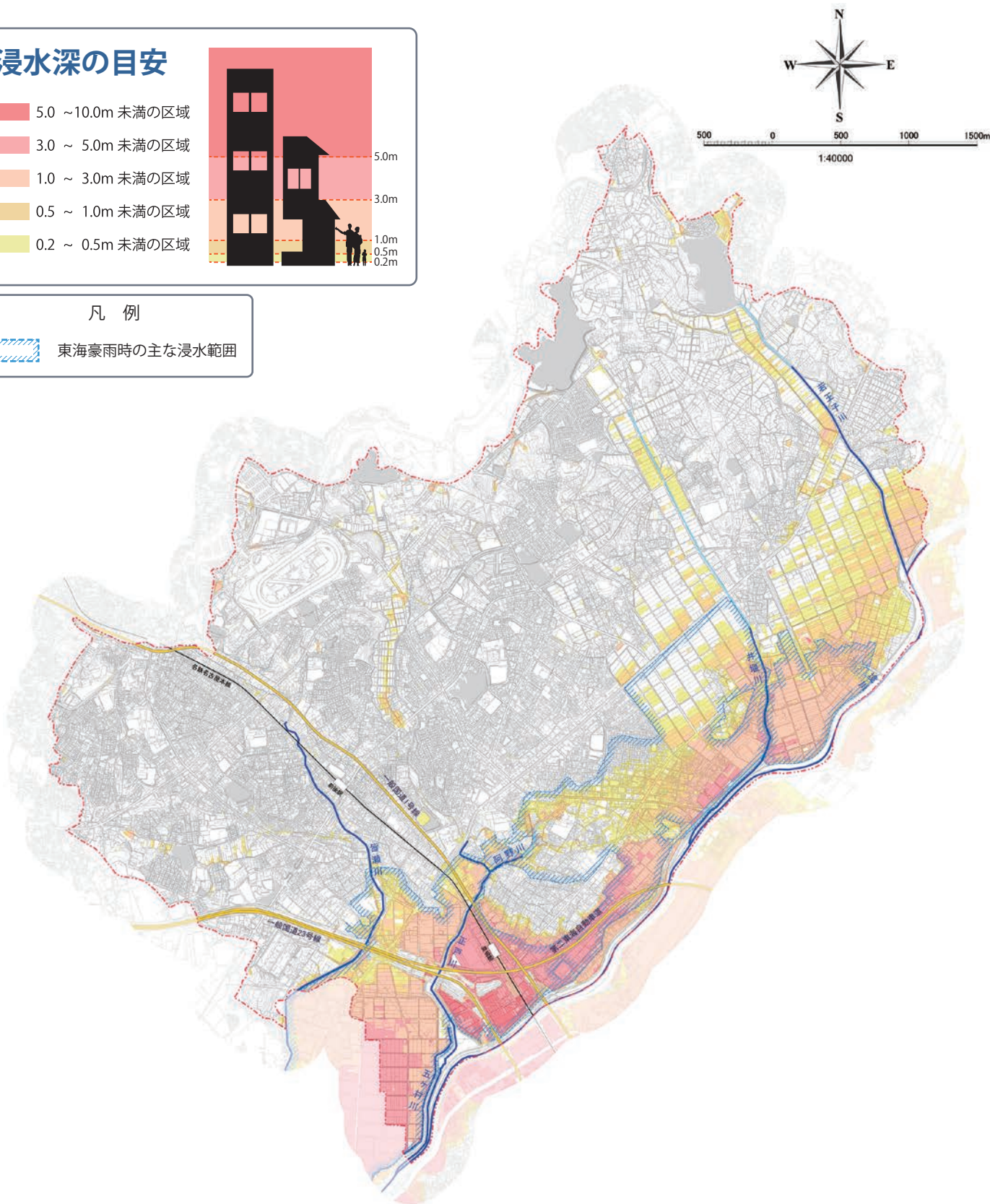
浸水深の目安

- 5.0 ~ 10.0m 未満の区域
- 3.0 ~ 5.0m 未満の区域
- 1.0 ~ 3.0m 未満の区域
- 0.5 ~ 1.0m 未満の区域
- 0.2 ~ 0.5m 未満の区域



凡 例

- 東海豪雨時の主な浸水範囲

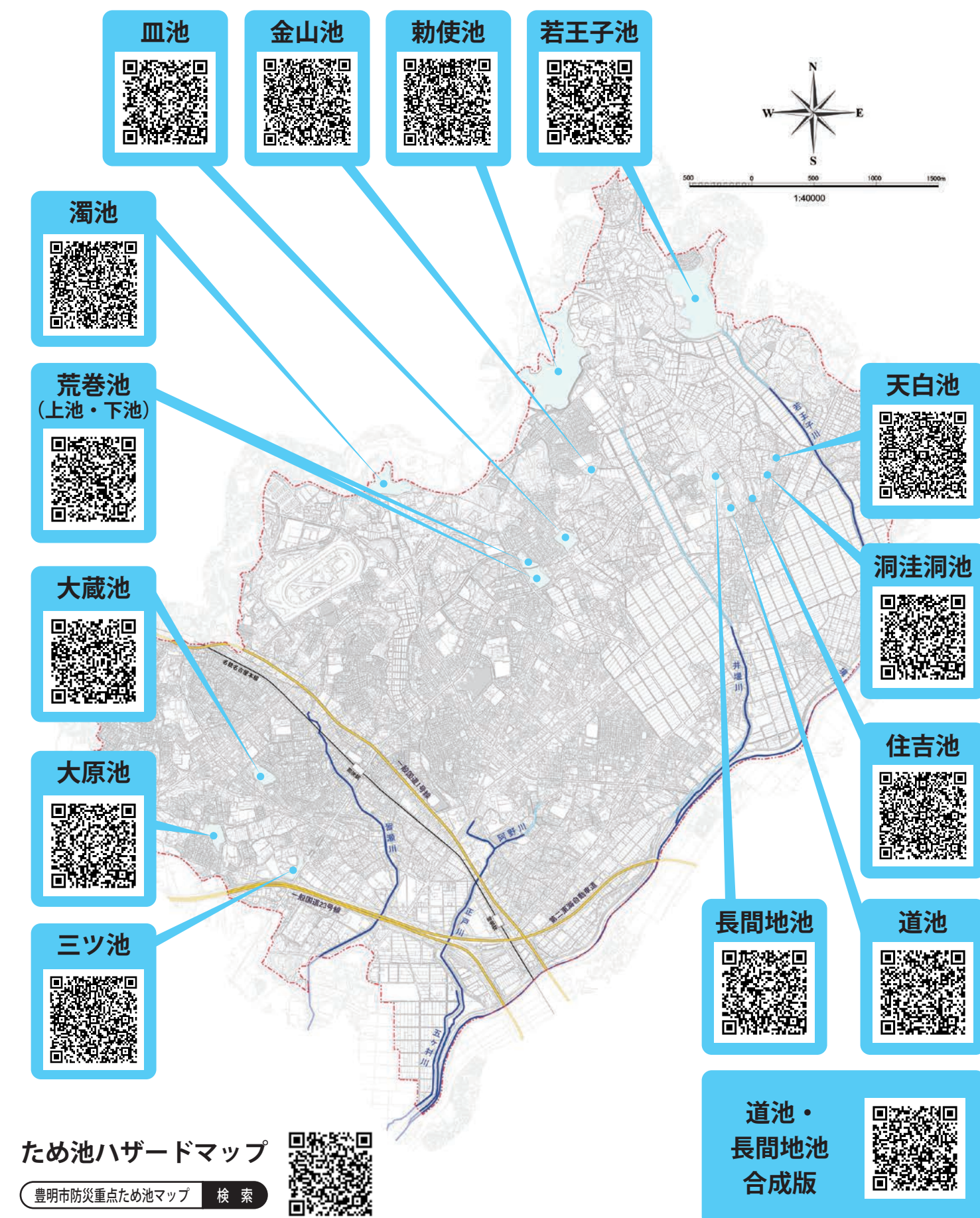


このハザードマップは、愛知県が作成した計画規模における「洪水浸水想定区域図」、豊明市が作成した計画規模における準用・普通河川の浸水想定区域及び内水氾濫の浸水想定区域を基に作成しています。

ため池ハザードマップ

豊明市では、防災重点ため池においてため池決壊時における浸水深や流速、到達時間が公開されています。下記のリンク先で、豊明市内のため池ハザードマップを閲覧することができます。地域の安全確認の際の参考などにご活用ください。

※防災重点ため池とは、決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池のことです。



ため池ハザードマップ

豊明市防災重点ため池マップ 検索

